

2018 Wako's Super Kart & JKcup Race Report



WAKO'S スーパーカートカップ第1戦

開催コース／筑波サーキット（茨城県）
主催／日本スーパーカート協会
開催日／2018年4月1日（日）
天候／晴れ 路面状況／ドライ

少し汗ばむような気温となるが、絶好のコンディションで迎えた開幕戦。長いシーズンオフを終え、サーキットにはいつもの最速メンバーたちが帰ってきた。

さて、予選トップタイムはSK1 保立翔。この勢いのまま開幕戦ウィナーを狙いたいが、その前に立ちふさがったのが YUUKA だ。スタートから早々にトップ争いを繰り広げる二台のマシン。しかし、レース中盤に保立のエンジンが一瞬、止まった。ここで大きくリードを広げた YUUKA は単独トップでファーストチェッカー、勝利を手にした。

複数台でのトップ争いが続いていた SK2 では、実力者の岩崎浩二がやがて集団を抜け出していくと、そのまま逃げ切ってファーストチェッカー、開幕戦ウィナーへと輝いた。



開幕戦ウィナーはやっぱりこの人、YUUKA



筑波の職人、SK2 岩崎浩二が接戦を制して優勝



実に一年振りの復活、SK4 桜井晋吾が登場！



レース後、2位の保立と笑顔で握手を交える YUUKA



開催コース/筑波サーキット (茨城県)
 主催/日本スーパーカート協会
 開催日/2018年4月11日
 天候/晴れ 路面状況/ドライ
 Report&Photo/月刊JAPAN KART

JAPANKART CUP with HDX 第1戦



▲総合優勝は親子チームのガレージ茶畑だ。すべてが作戦通りにハマっていったとのことで、まさに会心の勝利を手にした



▲15台が参戦したパンサーツアー。優勝したのは④鎌田陽介。5月で18歳を迎えるとのことで、すぐに運転免許証を取得した後にコースライセンスをゲットしてスーパーFJでの四輪デビューを目標としている



▲小6の三枝佳史(左)と中1の富田星羅によるスクーデリアPCR K3がチャレンジクラス優勝



▲黄旗追い越しによる一周減算ペナを受けつつも見事YZ85クラス優勝のTR☆れ〜しんぐ!+ぶなん

今年はずいぶん春の訪れが早く、ここ筑波でも、すでに桜の満開時期は過ぎ去り、葉桜になりつつある。そんな、すでに初夏の風すら感じさせるコンディションのなか、2018シーズンは開幕戦を迎えた。

今回は久しぶりにパンサーツアーとの混走となり、エントリー台数は32台(うち1台は出走せず)と大世帯でのレースとなった。

さて、トップ争いはレース中盤までスプリントレースを思わせるような接戦が繰り広げられるが、やがてYZ125クラスのガレージ茶畑がリードを広げていき、最終的には12秒のマージンを稼いで単独トップのまま総合優勝。そして開幕戦ウイナーの名譽をその手にした。

このチーム、親子で参戦しているのも特徴で、息子の幹太選手はまだ18歳の若手。筑波で開催されるレースはすべて参戦予定とのことで、次回6月10日開催の第2戦でも勝利しての連勝を狙うという。